

2024年7月1日

お客様 各位

秋田県信用組合

「手形・小切手の全面的な電子化」に向けた県内金融機関連携について － 県内金融機関が連携し地域のDXを推進 －

県内に本店を置く5つの金融機関、秋田県信用組合（理事長 藤原 保）、株式会社秋田銀行（頭取 芦田 晃輔）、株式会社北都銀行（頭取 伊藤 新）、秋田信用金庫（理事長 菅原 浩）および羽後信用金庫（理事長 藤田 直人）は、「手形・小切手の全面的な電子化」に向けて、連携のうえ電子化支援に取り組むことにしましたのでお知らせいたします。

記

1 背景

2021年6月に閣議決定された政府の「成長戦略実行計画」に「5年後の約束手形の利用の廃止・小切手の全面的な電子化」が盛り込まれました。これを受け、全国銀行協会では、「2026年度末までに全国手形交換所における約束手形・小切手の交換枚数をゼロにする」を目標として掲げました。

2 取組内容

- 秋田県内5金融機関は、「2026年手形・小切手の全面的な電子化」について、お取引先への周知活動を共同で実施するほか、インターネットバンキングによる振込や電子記録債権（でんさい）といった電子的決済手段への移行をサポートいたします。
- また、本活動の一環として、下記開始日より各金融機関共通のポスター・チラシを同時に掲示・配布いたします。

3 開始日

2024年7月1日（月）

4 広告物の内容

- 「2026年手形・小切手の全面的な電子化」共通ポスター
- 「2026年手形・小切手の全面的な電子化」共通チラシ

（以 上）